

IR ニュース



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

2026年3月 <第14号>

1 はじめに

IR ニュースは、本学における IR(Institutional Research)の現状や動向を定期的に発信し、IR への理解と関心を高めることなどを目的として発行しています。2018 年の創刊号から数えて第 14 号となります。今回は 令和 7(2025)年度の IR 室の活動を中心に報告します。過去の IR ニュースは次の URL に掲載されています。

<https://www.fukuyama-u.ac.jp/ir-room/>

IR 室の業務は、「福山大学 IR 室規則」に福山大学の様々なデータ及び情報を収集して管理・分析等を行い、本学の運営とブランディングに係る意思決定や改善を支援することと定められています。

収集に関しては保管・管理システムとして、教育や業務で利用している Microsoft365 の SharePoint と、学内 LAN 上に構築された NAS を使用することとなり、IR 室では、2025 年度はその運用を支援しました。分析に関しては、関係する委員会・センター等と連携して分析を進め、連携先と分析結果を共有し、点検・改善に有効に活用されるように努めています。活動及び成果は学内外へ発信しています。

目次

1 はじめに

2 活動報告

- ・科目区別の GPA 値と成績分布に関する分析
- ・入試と入学年度成績に関する分析
- ・入試（指定校推薦型選抜）に関する分析
- ・薬学部に関する分析 ～傾向の変動等の確認～
- ・教育ネットワーク中国 第 5 回研修会（IR 事例報告）
- ・福山大学・福山平成大学の IR 合同研究会
- ・データ収集活動

3 令和 7(2025)年度の振り返り

2 活動報告

令和 7(2025)年度の IR 室で実施した分析に関する活動を以下にまとめています。

・科目区分別の GPA 値と成績分布に関する分析

教務委員会との合同プロジェクトとして、科目区分別に GPA を算出し、学科間の比較を行いました。ここでの科目区分とは、「共通教育科目」と「専門教育科目」、「専門必修科目」、「専門卒業年次科目」の 4 区分です。

共通教育科目は全学部共通かつ入学年次に履修する科目が多いという特性があり、このため、各学科入学者の基礎学力を測る指標として位置付けました。

さらに、専門教育科目と共通教育科目の GPA 差を「カリキュラム難易度」と定義し、共通教育科目を基準とした専門教育科目の相対的難易度を算出しました。この「カリキュラム難易度」は 14 学科間で大きな差が見られ、学科ごとの特徴が明らかになりました。

同様の手法により、専門卒業年次必修科目と専門教育科目全体の GPA の差を「卒年カリキュラム難易度」と定義し、14 学科で比較を行いました。とりわけ文系学科において、卒年カリキュラム難易度が低くなる傾向、すなわち他の専門教育科目と比較して卒業年次必修科目の GPA が高くなる傾向が観測されました。

また、補足的な分析として、各学科の直近 3 年間の成績評価データをもとに、「不可」および「放棄」の割合が高い科目の一覧を作成しました。

本分析結果は、FD 研修の一環として教務委員会に報告するとともに、大学教育センター運営委員会においても共有しました。今後、各学科カリキュラムの基礎資料として、本分析結果が活用されることを期待しております。

・入試と入学年度成績に関する分析

IR 室では、学長室会議への報告資料として、過去数年間の入試状況および入学後の学修成果(GPA)に関する分析を実施しました。本分析では、①入試別入学者数の推移、②入試区分別 GPA の比較、③共通教育科目と専門教育科目の GPA 差の検証、④推薦入試と一般入試の科目内 GPA 比較、の 4 点を中心に整理しました。

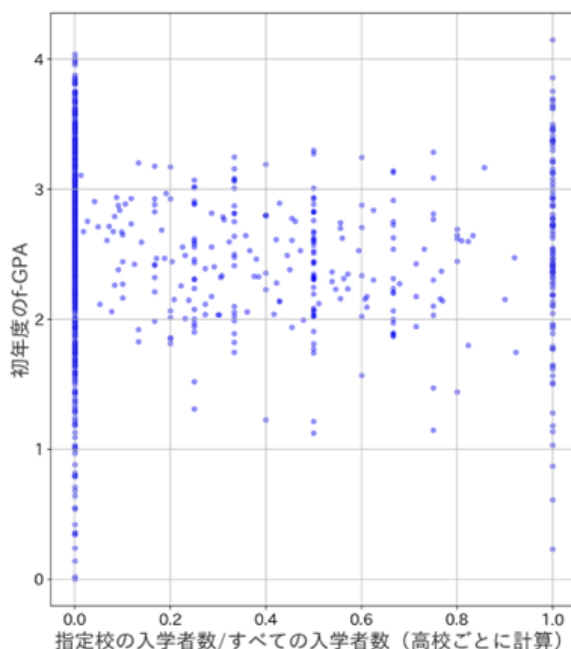
今後、推薦入試入学者の割合が高まることが予想される中で、こうしたデータは、カリキュラム設計や授業難易度の調整、学修支援体制の強化を検討する際の重要な基礎資料となります。

今後も IR 室では、入試から在学中の学修成果に至るまでの一貫したデータ分析を通じて、教育改善および入学者確保戦略の高度化に資する情報提供を行ってまいります。

・入試（指定校推薦型選抜）に関する分析

指定校推薦型選抜で入学した学生について、入学後の成績と、指定校推薦型選抜の入学者数との関係について可視化して調査しました。これにより、指定校推薦型選抜が有効に機能していることも評価できるようになっただけでなく、指定校推薦型選抜のさらなる拡大の必要性についても評価で

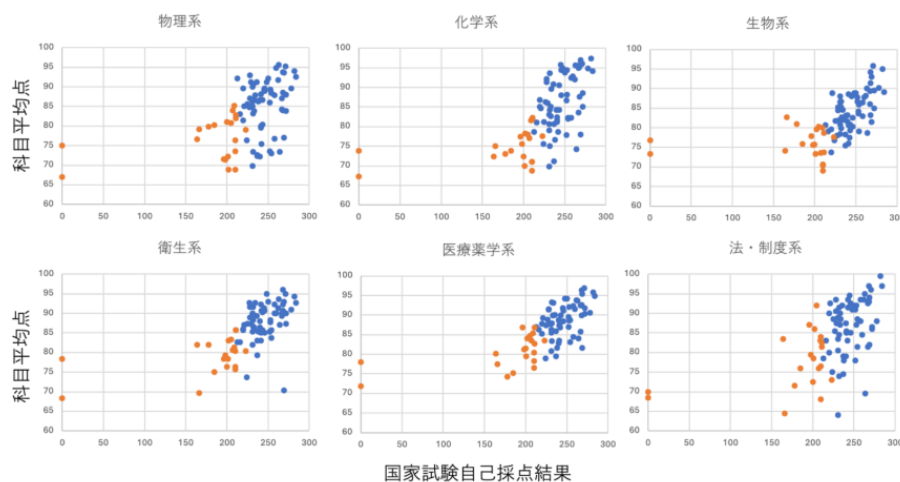
きるようになりました。以下に、その結果の一部を示しており、この分析結果は学長室会議で報告されました。今後も引き続き、大学入試の成果の振り返り手法を提案し、さらなる入試の改善につながるヒントを探ることを試みています。



・薬学部に関する分析 ～傾向の変動等の確認～

2019年度入学薬学生を対象として、薬剤師国家試験の自己採点結果と学士課程の成績および入試データとの関連について解析し、2017年度および2018年度入学薬学生の解析結果と比較しました。2019年度入学生では、法・制度系以外の科目において各系の成績が良い学生は国家試験の合格率が高い傾向がみられました（下図）。ここ3年間では大きな傾向の変化がないため、各系の成績を確認し、適宜指導を行うことが国家試験合格率上昇につながると考えられます。今後も継続的に解析を行い、動向を把握することにより学修向上へ役立てていく予定です。

薬剤師国家試験の自己採点結果と薬学部学士課程の成績を用いた分析



・教育ネットワーク中国 第5回研修会（IR事例報告）

2025年10月18日に開催された、教育ネットワーク中国第5回研修会（Web開催）に参加しました。「教学IRと特色ある取り組み報告」というテーマのもと、講演と教育ネットワーク中国の会員校5大学におけるIR事例報告がありました。本学からは、アセスメント・ポリシーの検討と改善について発表しました。現状、本学では学生の成績からのみ学科および大学のアセスメントを行っていますが、学生の自己評価を加えることにより学生側からの視点を増やしたり、学生の自由記載による意見を求めることにより量的な面だけでなく質的な面からの評価を加えるなどして、多面的な評価に発展させてはどうかとの意見をいただきました。これらを参考に、本学のアセスメントおよびIRの改善に繋げていきたいと考えています。

・福山大学・福山平成大学のIR合同研究会

令和7(2025)年度もIRに関する研修・会議が行われIR室メンバーが参加しました。令和7(2025)年9月12日(金)に福山大学と福山平成大学のIRに関連する部署が合同で研修会を開催しました。オンライン形式で実施し、両大学の11名が参加しました。研修会では、福山大学及び平成大学のIR関係の活動報告が紹介され、それぞれの活動の成果や運営方針等について意見を交換し、理解を深めました。

・データ収集活動

前年度の成績評価データ等（主にZelkovaで閲覧可能なデータ）と入学試験関係データ（総点や選択科目の種類など）を前期中に入手しました。また、就職率やインターンシップ参加者数など各種データ収集を2024年度末に実施しました。あらかじめ各課で入力してもらう項目を検討してWordにより書式を作成して、教務課、国際交流課、就職課、庶務課、入試広報室、経済学部・人間文化学部事務室、工学部・生命工学部事務室、薬学部事務室に3月18日にデータ記入の依頼をしました。3月31日には、全ての部署から回答があり、Excelによりデータの集約等を行いました。

2025年度分については、収集方法の見直しを行い、Microsoft365 Sharepointを利用したデータ収集方法を用いて各課・学部事務等の協力のもとで試行的に実施しました。

4 令和 7(2025)年度の振り返りと展望

今年度の IR 室の活動は、情報収集・分析を中心に、IR ニュースにて報告の通り、多岐にわたりました。入試広報室、教務課、教務委員会、大学教育センターをはじめとする各部署の多大なる協力によって実現したものです。IR 室で実施された検証や分析が大学全体の運営および改善に活かされました。データ収集の効率化にも取り組み始め、より深い教育的洞察が得られる土壌が整いつつあります。

本学の教育の改善と持続的な発展のため、客観的データに基づく意思決定を支えるための活動を推進してまいります。また、分析結果をそれぞれの現場でどのように活用できるか、教職員のみならず、さまざまな連携を一層深めていきたいと考えております。IR データは、本学が直面する課題解決の「羅針盤」です。提示された数値について、ご意見をいただくことで、分析の精度はさらに高まります。

IR ニュース<第 14 号>の発行を通じて、本年度の活動成果が広く共有され、IR 室について大学内外の理解が深まり、今後の活動に向けた有益なフィードバックが得られることを IR 室は期待しております。

IR ニュース<第 14 号>

2026 年 3 月 31 日発行

編集 IR 室

編集に携わったスタッフ：片桐 重和、田中 征史、田中 始男、天満 誠也、山本 覚、木平 孝高、記谷 康之、松永 大輝

ご意見やご要望がございましたら、以下のメールアドレスまでお寄せください。

e-mail: irwg@fukuyama-u.ac.jp